「知的障害のある生徒が学習意欲、就労意欲を高めることができる施設づくり」及び「立ち寄りやすさとセキュリティの確保が両立された施設づくり」についての提案

共通項として、限られた敷地における施設計画について

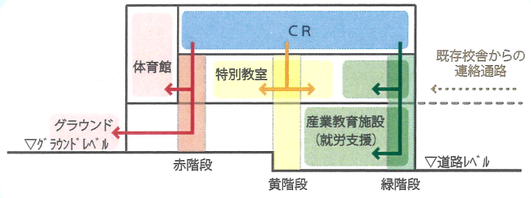
視点 1　シンプルで明快な空間構成

提案 1　３階建て校舎にすべての機能をコンパクトに納める

- 普通教室は各施設への等距離化を図り、３学年共に３階に配置する。
- 特別教室は既存校舎からの連絡通路移動に配慮し、２階に配置する。
- 産業教育施設は実習に協力する市民にとっての利便性と明快な安全区画のために、１～２階に配置する。

提案 2　L 型校舎の要所に３つの階段を配置する

- ３つの階段を赤、黄、緑に塗分けし、視覚的に明快にすると共に、日常の生活シーンで使い分ける。
  【使い分けのシーン・例】体育館、グラウンド、食堂へは赤階段 / 特別教室へは黄階段 / 産業教育施設へは緑階段
- 普通教室からの移動を階段の色分けでルーティン化することで、落ち着きと安心感を与える。



【空間構成と動線イメージ図】

知的障害のある生徒が学習意欲、就労意欲を高めることができる施設づくりについて

視点 2　発達障害への個別対応にも配慮したまとまりのある落ち着いた学習空間

提案 3　７クラス毎の学年ユニットのまとまりを形成する

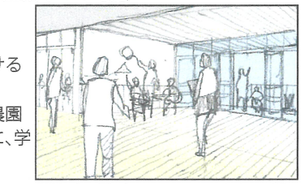
- １学年ユニットは７クラスとＯＳ（オープンスペース）、個別学習室によって構成する。
- トイレは、各学年ユニットの間に配置し、生徒更衣室はＬ型の結節点に配置することで、３階での動線を最短化する。

提案 4　学年ユニット毎に OS(オープンスペース)、個別学習室を配置する

- クラス単位の授業で対応できないケースでは OS や個別学習室を用いて、個別対応ができる。一方、クラス間の横断的な対応についても OS、個別学習室を利用することができる。
- 学年ごとの OS(オープンスペース) を適所に配置することで、中廊下に外光を取り込み、開放感をつくると共に、要所にトップライトを設ける。(３階最上階なので可能)

提案 5　テラスに学習農園を設ける

- 要所にテラスを設け、不安定な生徒の気持ちを落ち着ける効果に期待する。
- グラウンド面積に限りがあるため、屋上テラスに学習農園を設け、生徒が土に触れる貴重な機会を提供すると共に、学年を超えて交流し、一体感を生むことができる。



【要所に設けるテラスのイメージ】
屋外活動の場となるテラスは、ホワイトボード等を設えるＯＳと一体となり、多様な活動の場となる。

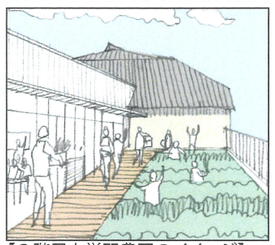
視点 3　学習意欲を刺激する特別教室エリア

提案 6　教科の魅力を廊下に表出させる

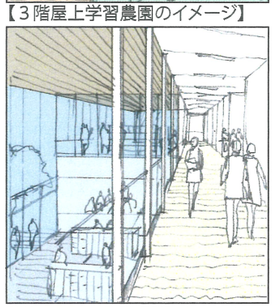
- 理科室の標本、実験機器、美術室の作品などを廊下側のディスプレイ収納棚に収納し、廊下側から教科の魅力が見えるようにすることで、生徒の学習意欲を引き出す。

提案 7　先生と生徒の接点となる図書室をつくる

- 図書室を職員室前に配置し、先生のサポートを受けやすくすると共に、生徒にとって第２の保健室的な役割を担わせる。
- 天井は、下足室の吹抜け天井と連続して木を利用するなど、木の温かみのある図書室とする。
- 図書室は、１階下足室から吹抜け越しに、２階既存校舎からの連絡通路正面に見えて、安心感をあたえる。



【３階屋上学習農園のイメージ】

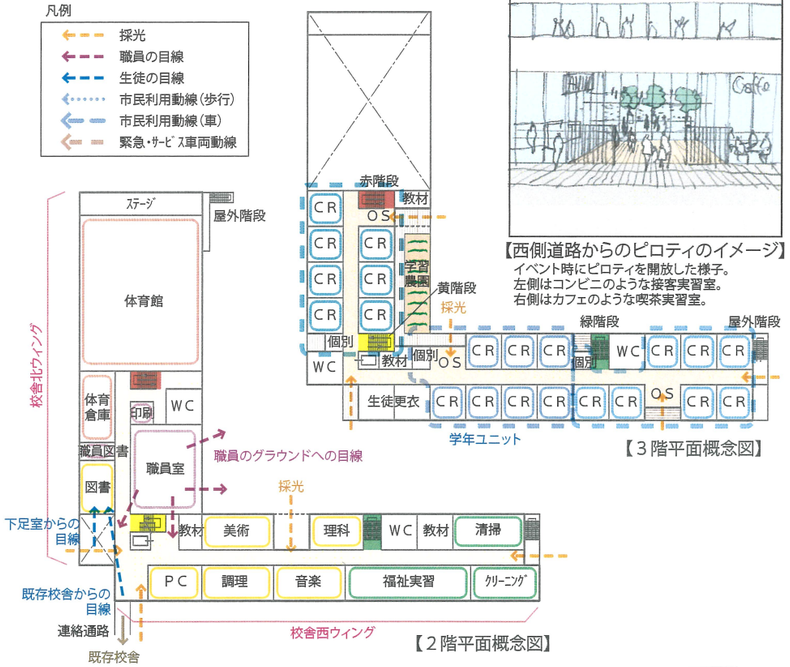


【玄関下足室上部吹抜イメージ】
既存校舎から連絡通路を通り、増築校舎へ入ると、正面に図書室、廊下をはさんで職員室が見える。玄関吹抜空間と図書室の天井は木天井を連続させ、あたたかい雰囲気のエントランスをつくる。

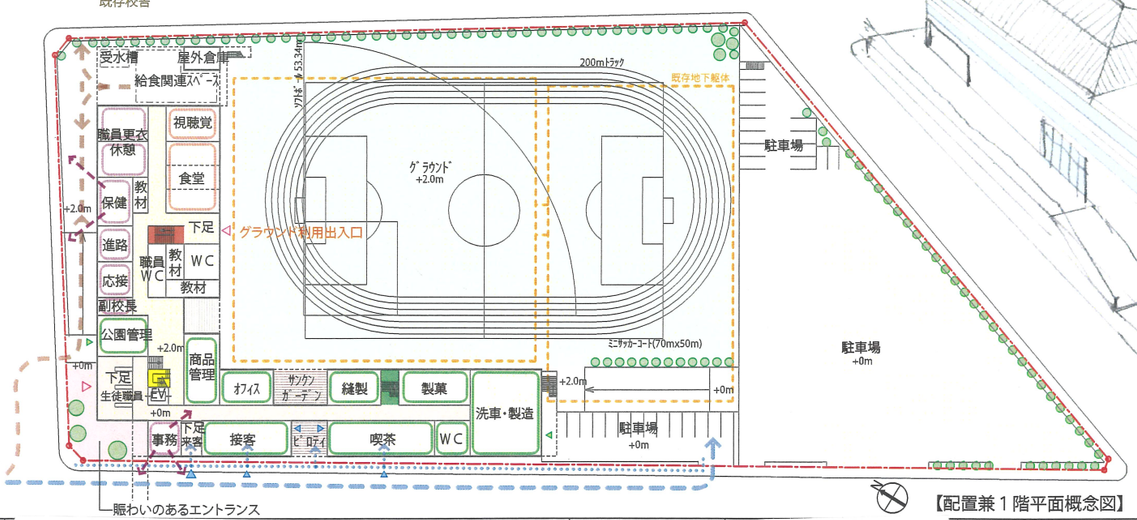
課題 4　就労意欲を高める産業教育施設エリア

提案 8　街中の店舗のような産業教育施設をつくる

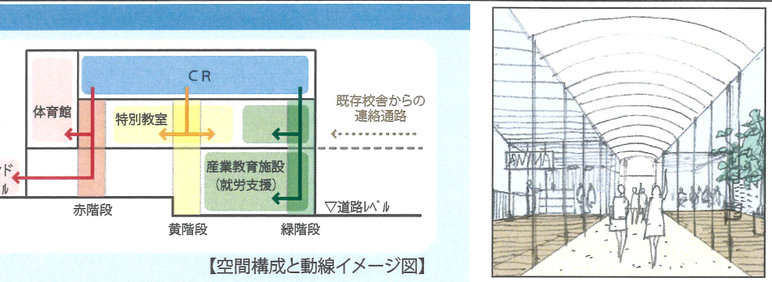
- 接客実習室、喫茶実習室は直接道路に面して、コンビニ、カフェなどの店舗の雰囲気をつくる。
- 中廊下はアーケード通りのイメージになるよう各諸室の店構えを演出する。
- 製菓実習室、縫製実習室は廊下から中の様子が覗けるつくりとし、生徒が社会の中で働いている体験の場とすると共に、接客実習室と喫茶実習室での生徒自ら作った製作物の販売を通して、生徒の就労意欲を高める。



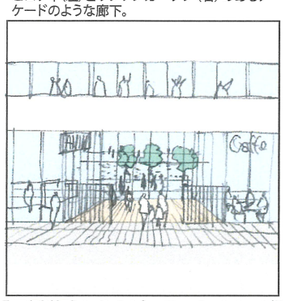
【２階平面概念図】　【３階平面概念図】



【配置兼１階平面概念図】



【1階産業教育施設エリア廊下のイメージ】
ピロティ（左）とサンクンガーデン（右）のあるアーケードのような廊下。



【西側道路からのピロティのイメージ】
イベント時にピロティを開放した様子。
左側はコンビニのような接客実習室。
右側はカフェのような喫茶実習室。

立ち寄りやすさとセキュリティの確保が両立された施設づくりについて

視点 5　市民が立ち寄りやすい施設づくり

提案 9　あたたかい表情のエントランスによって街に賑わいをつくる

- エントランスは既存校舎に近い、敷地の北西角に設けて、臨港地区の一角をしめる支援学校の周辺に賑わいをつくる。
- 下足室廻りは、２層吹抜けとして、外から見ても１階事務室、２階図書室が見渡せると共に、夕暮れ時にはメイン階段の１つ黄階段のカラーが鮮やかに浮かび上がる。
- エレベーターは黄階段横に配置し、黄階段と共に、メインの縦動線とすることで、コンパクトで利用しやすく、管理しやすい計画とする。

提案 10　立寄りたくなる洗練された都市空間（ピロティ、サンクンガーデン等）をつくる

- 西側道路に面した接客実習室と喫茶実習室の間にピロティを設け、廊下を挟んだグラウンド側に 2.5 層吹抜けのサンクンガーデンを設け、洗練された都市空間をつくる。

提案 11　下足室付近に事務室を設け、一般市民が入場しやすくする

- 実習参加の市民は、事務室横の来客用専用入口から産業教育施設エリアにアプローチできる。
- イベント時には、ピロティ部分を開放することで、事務室のチェックを受けることなく、直接産業教育施設エリアにアプローチでき、小広場の賑わいをつくる。

視点 6　市民利用想定エリアの明確化

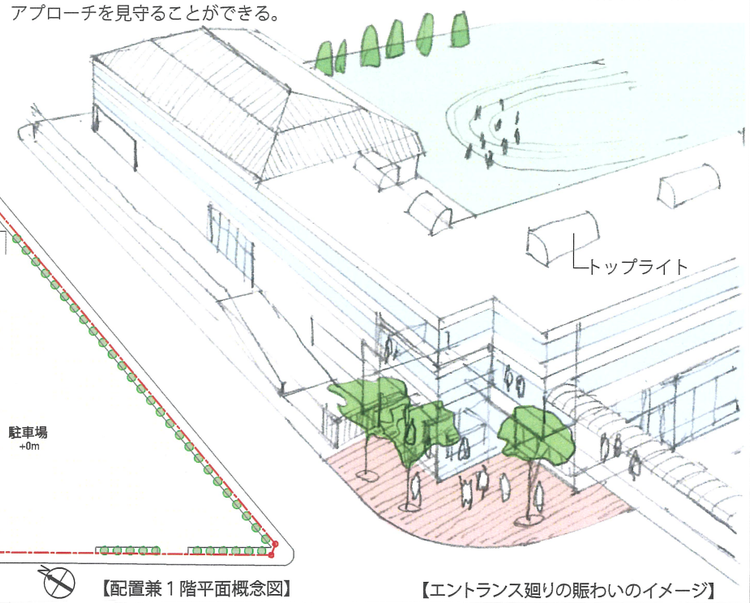
提案 12　市民利用を想定した産業教育施設エリアを１階前面道路レベルに集約する

- 市民利用を想定する接客実習室、喫茶実習室、縫製実習室及び、接客実習室に関連の深いオフィス実習室、商品管理実習室、一般開放エリアとの近接を求められる製菓実習室、直接外部との関連性を求められる洗車・製造実習室を含む産業教育施設エリアを一階西ウイングに集約することで、ほかのエリアとは、事務室を境に、明確に施錠区画ができる。
- 上記の理由で実習時の市民利用エレベーターが不要となる。

視点 7　生徒たちを見守る管理諸室

提案 13　事務室、保健室・副校長室、職員室で全方位を見守る

- 下足室付近に設けた事務室によって、西側道路と下足室への出入りを見守ることができる。
- 赤階段からグラウンドへの下足履き替えスペースを設け、その北側に保健室を配置することで、グラウンドから保健室への動線と保健室への緊急車両の近接を可能にすると共に、保健室から校内北側の視線の確保ができる。
- 北ウイング２階のグラウンド側に職員室を配置し、グラウンドのみならず、既存校舎２階からのアプローチを見守ることができる。



【エントランス廻りの賑わいのイメージ】

技術提案者　代表構成員　構成員